

平成 25 年 12 月 12 日
運輸安全委員会

J R北海道による軌道検測データの改ざんに係る委員長コメント

(平成 25 年 9 月 19 日発生の函館線大沼駅構内列車脱線事故)

安全輸送を第一とする鉄道事業において、安全に関わるデータの改ざんは、それ自体があってはならないことです。

また、事故に関連する事業者においては、事故原因の究明及び再発防止に資するため、運輸安全委員会の行う事故調査に真摯に、誠実に協力しなければならないことは言うまでもないことです。

にもかかわらず、J R北海道においては、事故直後に軌道の検測データを改ざんし、当委員会に提出したものです。

これは、当委員会が、適確な事故調査を実施し、かつ、効果的な再発防止策を提言するに当たり、大前提となる事実をゆがめるものであり、極めて言語道断であり、誠に遺憾であると言わざるを得ません。

当委員会といたしましては、本件の重大性・深刻性に鑑み、J R北海道に対し、責任ある説明を求めるとともに、原データの提出を求め、これまでに入手したデータについても再確認をし、かつ、今後入手するデータについても、裏付けとなる原データに当たるなど、厳正かつ慎重に調査を行うことといたします。

以上